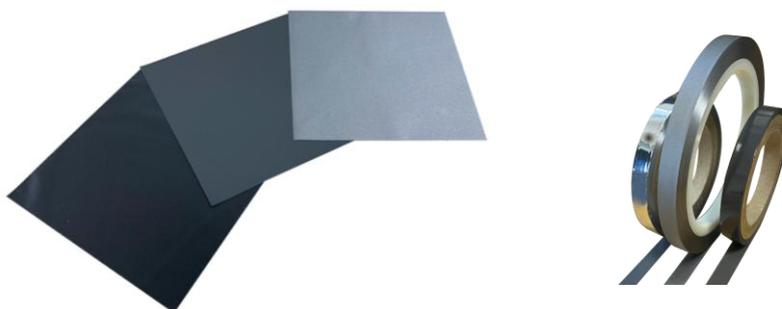


2026年2月26日
マクセル株式会社

高周波帯域対応の EMC 対策部材サンプルを 4 月より出荷開始 電子機器などに使用されるケーブル/IC/基板/コネクタ周辺のノイズ抑制に寄与



磁気ノイズ抑制フィルム「Mタイプ」(左:シート状仕様、右:テープ状仕様)

マクセル株式会社(取締役社長:中村啓次/以下、マクセル)は、高周波帯域用 EMC 対策部材として開発を進めてきた磁気ノイズ抑制フィルム「Mタイプ(Magnetic Type)」(以下、「Mタイプ」)の機能性評価向けサンプルを、4月より出荷開始します。

近年、電子機器や接続ケーブルから発するノイズが機器の正常動作や無線通信に影響を与える事例が増えています。特にメガヘルツ帯からギガヘルツ帯へと利用周波数帯域が拡大するなかで、高周波ノイズ対策の重要性は一層高まっています。マクセルは創業以来、カセットテープやコンピュータテープなどの磁気テープで培った磁性体開発技術、微粒子分散技術、高精度コーティング技術、積層プロセス技術などを活かし、次世代の EMC 対策部材の開発を進めてきました。

「Mタイプ」は、磁性粉分散技術とウェットコーティング技術を活かした、数百メガヘルツ～数十ギガヘルツの高周波帯域に対応した磁気ノイズ抑制薄膜フィルムです。パソコンやスマートフォンなどの電子機器や医療機器、通信機器、自動車の電子システムなどに使用されるケーブル、IC、回路基板、コネクタなどのノイズ発生源周辺で生じるノイズの抑制に貢献します。

このたび出荷を開始するサンプルは、機能性評価用途向けに、周波数帯域や形状(シート状/テープ状)、幅・長さなどカスタマイズに対応します。「Mタイプ」は磁気ノイズ抑制と薄膜・軽量化を両立しており、折り曲げ時のクラックや粉落ちを低減した塗膜設計ならびにコーティング加工技術により、厚さ約 60 マイクロメートルの薄さで直径 1 ミリメートルの曲げにも耐える屈曲性を有します。また、金属膜との複合化により電界シールド性能をさらに向上させることも可能です。

マクセルは、磁性材料に関する長年の知見と、独自のアナログコア技術である、微粒子の混合・分散技術や精密塗布技術を活かした EMC 対策部材の開発を通じて、高度情報化社会を支えるソリューションを提供していきます。

■「EMC 対策部材」Web ページ

https://biz.maxell.com/ja/functional_materials/emc.html

■商標

記載されている名称、ロゴ、サービスマークはマクセルまたは他社の登録商標もしくは商標です。

■本件に関するお問い合わせ先

マクセル株式会社 新事業統括本部

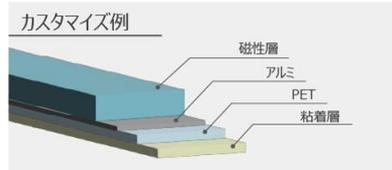
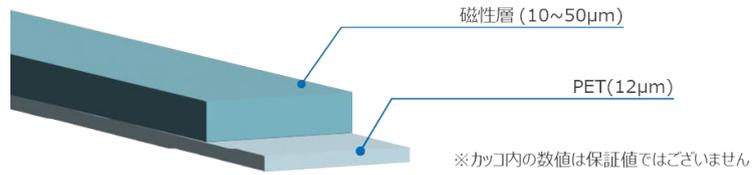
お問い合わせフォーム:

https://biz.maxell.com/ja/functional_materials/inquiry_form_input1.html

以上

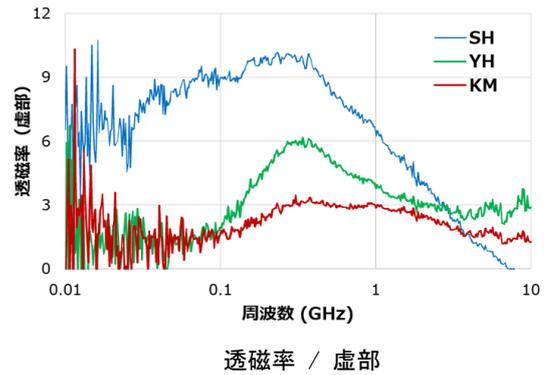
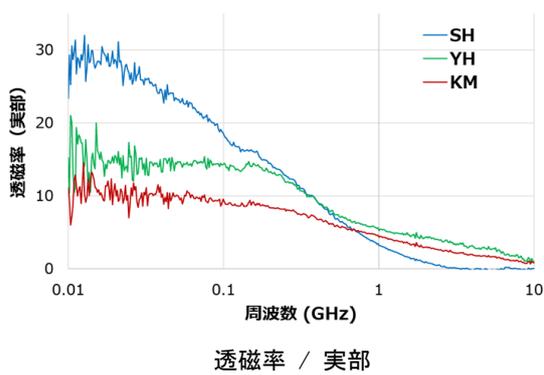
添付資料

■ 「Mタイプ」製品構造とカスタマイズ例



■ 周波数帯ラインアップと透磁率特性

抑制したい周波数帯域に応じた「SH」、「YH」、「KM」の3種類をラインアップ



■ マイクロストリップラインから放射されるノイズの抑制効果*1

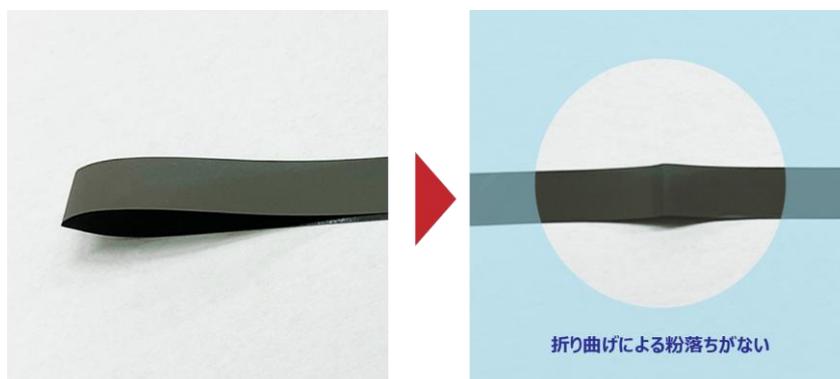
	磁界ノイズ(1~3GHz)	電界ノイズ(1~3GHz)
ノイズ対策なし		
Mタイプ*2 基材:アルミ蒸着PET (:貼り付け位置)		

*1 マイクロストリップラインから放射されるノイズの抑制効果:ペリテック社製 EMI テスタ測定

*2 Mタイプ:記載データは、アルミ蒸着PETを基材とした複合膜シート状のカスタマイズ仕様品

■耐屈曲性

写真は「KM」品における折り曲げ例(厚さ約 60 マイクロメートルの薄さで直径 1 ミリメートルの曲げ)



以上

ニュースリリース、お知らせに記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、
発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日時点のものです。
予告なしに変更され、発表日と情報が異なる場合もありますので、あらかじめ
ご了承ください。
